
四角い物語

わらしこ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

四角い物語

【著者名】

わらじこ

N6290M

【あらすじ】

なんとなく電車に乗つてたら。

ある日のことです。

私は電車に揺られておりました。

どこへ向かうのかとここまでは学校です。

片道30分間、周囲はサラリーマンばかり。

それもそうです。

朝は通勤ラッシュです。

ある日のことです。

流れのよしに車両の真ん中へ着いた私の前の座席には若い母と子が座つておりました。

若い母は私を見てため息をつきました。

何故でしょ、自分ではわかりません。

子をひざの上に乗せて窮屈そうに座つておるのです。

次の駅で珍しくおばあさんが乗つてこちらに流れきました。
誰も譲りません。

このおばあさんはなかなか華奢な身体をしていました。

私に背を向けてつり革に頬つて立つていました。

次の駅で若い母は子をひざの上から下りました。

子が小さくしゃみをして、私はおばあちゃんに席を譲りました。

若い母からまたため息が聞こえました。

何故でしょ、自分ではわかりません。

私は半歩後ろに下がつてサラリーマンの間へ入りました。

ある日のことです。

おばあさんが降りるとき、「ありがとうございます」とお礼を言われるまで、ずっと後ろを向いていました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6290m/>

四角い物語

2010年10月21日21時39分発行